

新しい世界によろこそ！

学科長 Mauro Neves

新入生の皆さん、ポルトガル語学科によろこそ！ 在学生の皆さん、新たな気持ちで新学期を迎えたことと期待しています。

今年は、1973年9月24日にギニア・ビサウが独立宣言をしてアフリカにポルトガル語圏の新しい国が誕生してから50周年に当たります。そしてブラジルにおいてラジオ放送が開始されて100周年にも当たります。さらにブラジルで、去年行われた大統領選挙に勝利を収めた新しい政権が誕生し、いま存在している国民の間の溝をどこまで埋めることができるかという話題でもちきりの年にも当たります。そういう年に皆さんがポルトガル語学科に所属していることは、きっと皆さんの一生に残ると思います。

世界が2020年から新型コロナウイルス感染症と闘っている中、実際のボーダーが閉鎖あるいは厳しくコントロールされ、それぞれのボーダーを超えることが難しくなりましたが、コロナ以前の生活が状況に少しずつ再び可能になってきました。しかしウクライナ戦争をはじめ、世界の様々場所で紛争が続いています。その状況の中でも「仮想」のボーダー（国境だけではなく、様々な意味で）はインターネットによってなくなりつつあり、一つの国に一つの言語と一つの文化という時代はなくなりました。

そのような時代に一つの言語を学ぶということは、ただ単に言葉を学ぶだけでなく、異文化のルーツを持つ人間同士の心を一つにするための橋を架けるということです。本学科で勉強するということは、そのための力を身につけることに違いないと私たち教員全員が確信しています。特に1年目の基礎がとても重要です。諦めたい気持ちになる時もあるでしょうが、新しいことを学ぶ楽しさと考えて勉強をしてください。

2年次生は、語学カリキュラムの中で最も内容が複雑で予習・復習が必要な年を迎えます。様々な授業を通して学んだ基礎を向上させることを目指してください。そしてどのような研究コースを選ぶのかについてもじっくり考えてください。

3年次生は、学習してきたことを応用する年を迎えます。「総合ポルトガル語」という6科目を選択し、ポルトガル語で様々な資料を読み解き、コミュニケーション力を向上させることを目指してください。そのために積極的に授業に参加することが不可欠になります。また、自分が選んだ研究コース科目の履修が進み演習も始まります。自分が興味をもつ分野を楽しく勉強しましょう。

4年次生は、就職活動を頑張ることになるでしょう。しかし「総合ポルトガル語」の2科目の履修がまだありますから、最後にポルトガル語をさらに磨きながら過ごしてください。なお内定が決まり次第、学部・学科へも報告してください。

この1年間を無駄にしないかは、自分次第だということを忘れないように！ 私たち教員全員でサポートしますが、それを生かすかどうかを決めるのはあなたたち自身です。

新入生の皆さん。ポルトガル語は勉強し始めたら理解できるようになる言葉です。皆さんがこの学科に入ったことは皆さんの *destino* でもあり、皆さんの *fado* を変えるチャンスでもあります。その *fado* / *destino* を恐れず嬉しく受け入れ、あなたたちのためになることを心から願います。